令和元年度関東東海北陸農業試験研究推進会議

関東東海北陸水田作畑作・作業技術部会

冬作研究会開催要領

部会長　　中央農業研究センター　　　　　生産体系研究領域長　吉永悟志

　　　　　　　　　　副部会長　次世代作物開発研究センター　　稲研究領域長　　　　山口誠之

副部会長　農業技術革新工学研究センター　革新工学研究監　　　吉田智一

副部会長　中央農業研究センター　　　　　水田利用研究領域長　荒井治喜

**１．趣旨**

　AI，ICT，ビックデータなどのキーワードが農業研究にも適用される中で，品種育成や作物栽培研究において，各種データの効率的な取得技術の確立や取得データのビックデータ化とその利活用の推進に基づいて「データ駆動型」の生産技術開発や研究を効率的に行うことが求められている．このような状況に対応して，重点検討事項のテーマを「麦作に関わるデータ駆動型研究の推進方策」とし，スマート育種への取組み状況や研究データのデータベース化と利用方策等に関する情報提供と各県の麦作研究におけるスマート農業研究や研究データ集約や活用に関する取り組みについての情報共有を行って地域内での研究連携の促進，研究の効率化を図ることとする．

**２．開催日時**　令和元年９月１７日（火）１３：１５～１８日（水）１２：００

**３．開催場所**　農研機構　第１本館１階大会議室（茨城県つくば市観音台3-1-1）

**４．議　　事**

９月１７日（火） 13:15～17:15

　　１）開会挨拶

　　２）麦作に関する情報提供

　　　　　農林水産省，農研機構・中央農研

３）重点検討事項の検討

「麦作に関わるデータ駆動型研究の推進方策」

（１）スマート育種への取組み状況

　　農研機構・次世代作物開発研究センター

（２）研究データのデータベース化と活用について

　　農研機構・農業情報研究センター

（３）各県の麦作研究におけるスマート農業研究や研究データ集約や活用に関する取り組み

　　各県担当者

（４）総合討論

９月１８日（水）　9：00～12：00

　　４）新品種候補、新配付系統と品種決定に関する情勢報告

　　５）その他

**５．参集範囲**：農林水産省関係部局および農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東海北陸地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局の関係者、次世代作物開発研究センター、中央農業研究センター、その他部会長が必要と認めた者

**６．連 絡 先**　（事務局）

　　農研機構　中央農業研究センター　生産体系研究領域 松崎守夫

　　電話：029-838-8852

E-mail: kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

**７．その他**

　　資料作成、参加申し込み、その他については、別途事務局より連絡する。